

YUFU CITY INFORMATION MAGAZINE

あらかしの森^もの林^り通信

11月号



由布市合併1周年企画シリーズ2
心をひとつにした地域づくり(対談)

心をひとつにした地域づくり ～融和と協働～

由布市合併1周年を迎え、今、市民の間でも融和と協働の取り組みが進められています。地域で、グループで、そして各種団体で「人・地域・自然が元気なまち」へ向け、できることから取り組んでいます。

そんな中、市内の有志が立ち上がり、きたる11月22日に由布市合併1周年記念事業として『舞え唄え響け 由布の國』をテーマに記念イベントを催すこととなりました。挟間の里唄、庄内の神楽、湯布院のゆふいん源流太鼓という各地域を代表する文化が、同じ舞台上で発表されます。

今回、各団体代表者の方に、まちづくり対談をしていただきました。

- 〈対談者〉 黒木 俊一さん(挟間・里唄代表) ※文中では「黒木」で表示しています。
 服平 志朗さん(庄内・神楽代表) ※文中では「服平」で表示しています。
 長谷川 義さん(湯布院・ゆふいん源流太鼓代表) ※文中では「長谷川」で表示しています。
 〈聞き手〉 広報担当

第8回 大分県民芸術文化祭参加行事 由布市合併一周年記念事業

マ エ ウタ エ ヒビ ケ ユ フ ノ サト

舞え唄え響け 由布の國



2006年11月22日(水)

場所◆大分市 *ichika* グランシアタ 時間◆入場17:30 開演18:30 終演21:00

主催◆由布市合併記念事業実行委員会 共催◆由布市 由布市教育委員会

3団体の紹介

まず、各団体のPRからどうぞ。

服平 神楽座は12団体あり、各座では定期的に練習しています。座を超えた若手による「神楽吉会」というグループがあり、約20名います。今回の「由布の國」公演には神楽吉会が出るんです。

同会は庄内地域で定着した『ミステリアスライブ』を手がけています。

長谷川 ゆふいん源流太鼓は今年で創立29年目。弟分で子ども達で結成された「ゆふいん源流少年隊」の育成にも力を入れ、平成13年には全国約600の子ども太鼓団体の頂点にも立ちました。今年度は2回目の日本一を目標に、練習に励んでいるところやね。

私たちゆふいん源流太鼓はメンバーが8人。海外公演もあり、毎年6カ国くらいまわっている。これまで60カ国ほどまわり、来年はブラジル公演が予定されている。由布市で生まれ育った団体なので、太鼓の音で由布市を全国津浦々にアピールしていきたいと思っています。

黒木 里唄は、昭和48年に設

立した大分県民謡研究会「豊陽会」が普及に努めています。現在、県下に7支部あります。今回の公演は挟間支部だけでなく、豊陽会全体で取り組みます。

平成14年2月には「はさま里唄フェスティバル」を開き、里唄普及に努めました。国民文化祭にも出演し、県内はもとより県外の舞台で民謡を発表しています。毎年6月末の日曜日に大分文化会館での民謡民舞祭りにも出演しています。

また、挟間支部が大分県民謡連盟に働きかけて、大分県民謡大会がはさま未来館で開かれるに至り、毎年開催されています。

— 今回の「舞え唄え響け、由布の國」を催すきっかけを教えてください。

長谷川 神楽の方、里唄の方



▲黒木 俊一さん

と一緒になる機会があったんだね。合併1周年を迎え、「ボチボチ元氣を出していこうか」と一緒にやらないかということになり、伝統が一つになるのもいいんじゃないかと。

市民の元氣が祭り事から始まることに期待しているんや。昔から城下町には必ず祭り事があるので、由布城下町として祭り事をおこしていきたい。合併して「自分たちはこんな素晴らしいうことができるんや」というところを見てほしいね。

— これまで、皆さんはそれぞれの団体のことはご存知でしたか？

黒木 そりやあもう、よく存じています。

服平 皆さんのことは合併前から知っていました。私が長谷



▲服平 志朗さん

川さんと同級生ということ、打合せもスムーズにできています。

私も今回の公演は思い切りやれそうです。

長谷川 みなさん有名な方だけど、打合せはお互いに気心が知れるようになったね。

— 皆さん、以前から何らかの縁があったということですね。

服平 そういった中で、お互いが持つものを出し合っていたらいいのではないかと思います。

長谷川 一つのまちになった中で、できることから始めていくことが大事だね。

黒木 お互いの融和があればこそ、今回の催しに取り組めるんですよ。



▲長谷川 義さん

協働グループ紹介

挟間町消費生活グループ

同グループは設立後30年が経過。「消費者問題や環境問題を学び、私たち消費者が正しい知識を身に付けることを目指しています」と会長の園田由紀子さんは話します。

自分たちのできることから取り組みたいと、川の水質検査や廃油石けん作り、そして悪質商法から身を守るための啓発活動に取り組んでいます。

特に、各老人クラブなどに出向き、手作りの紙芝居で悪質商法を防ぐ学習が好評。

「合併を機会に、他地域の方と消費者問題について一緒に学習していきたい」と抱負を話します。



由布市のこの1年は

「この1年間を振り返って、皆さんの目には由布市はどのよう

に映りましたか？」

長谷川 不便だと思うことも逆に活用すればいいんじゃないかと。挟間に書類を届けたら、挟間の人とふれあうこともできるしね。気持ちの持ち方で随分と違うと思う。

黒木 まだ、お互いに遠慮しているような気がします。

服平 挟間の人が庄内の神楽祭りを見て「こんなに人が集まるんかえ」と驚いていました。確かに知らないことは多いけ

ど、いろんなつながりの中で、お互いを知るきっかけはいくらでもあると思います。

「例えばゆふいん源流太鼓の名前は聞いたことがあっても、実際に太鼓を叩く姿を見たことがない人はかなりいるかもしれないね。」

黒木 合併前は、よその町の文化を見たり聴いたりする機会がなかったかもしれないが、同じまちになれば、そういう機会がたくさん出てくるでしょうね。

服平 新しい風が吹き始めたという感じがあります。同じまちになったことにより、色んな



▲庄内神楽とジャズの競演(今年のミステリアスライブから)



▶平成13年にはさま未来館で催された里唄フェア。心に響く里唄を披露。

人と知り合う機会ができたことは何より嬉しい。いい意味での刺激にもなりますし。今回の催しはお互いを理解する機会ではないかと思えます。

「由布市の中にある文化を見る、聴く、知ることになりますね。地元の文化を見直すきっかけにもなるでしょう。」

協働グループ紹介

庄内花いっぱい運動推進協議会(庄内)

平成12年に発足し、現在の会員は個人136人、団体55団体。春は「菜の花」、秋は「コスモス」で、国道210号や県道などを花いっぱいにする活動を行っています。ボランティア800人で取り組んだ今年のコスモスロードもきれいな花を咲かせました。

会長の二宮勝利さんは、「花づくりをおして地域のみなさんがつながりを深め、美しいまちづくりを進めることで自分たちの地域に愛着を持ってほしい」と話します。会では、2年後の大分国体開催に向け、市内全域を花いっぱいにし、おもてなしの心でお迎えしたいと張り切っています。





▲エネルギー溢る太鼓の音をくり出す「ゆふいん源流太鼓」(今年の湯布院温泉まつりより)

これからの由布市に期待するもの

— 今後の由布市に期待するものは何でしょうか？

服平 どの人でも「由布市はいいなあ、住んでみたいなあ」と思えるまちになればいいんだけど。県都に近くて自然が豊かで伝統文化もあるという3地域の特徴がうまくミックスした由布市が一番やね。

長谷川 市民が地域を愛し、地域の良さを再確認して、人のため地域のために動くというこ



※集客数などを考慮して、また、由布市のPRのため、開催場所は「cinikogran(シニア)」となりました。

公演の見どころは？

— 最後に、今回の公演の見どころをPRしてください。

長谷川 「舞え唄え響け」— 由布の國のストーリーそのものを見てほしい。

服平 由布市各地域の最高の文化を、舞台で見せようという意気込みを感じてほしい。

黒木 やはり意気込みやね。ストーリーの中で由布市の力を見てほしいね。

— 今回の公演で由布市の素晴らしさをみんなが身体で感じてほしいと願っています。どうもありがとうございます。

協働グループ紹介

しゃぼん玉工房 (湯布院)

しゃぼん玉工房(眞野恵子代表)は平成3年(1991年)に活動開始。主に廃油石けん作りに取り組んでおり、東石松地区に作業場があります。現在メンバーは6人。「町の廃油石けん作りをボランティアで手伝うことから始まりました」とメンバーの方は話します。作業場には石けん製造器があり、運搬も可能。依頼があれば各地で石けん作り講習会を開くこともできます。元々は粉石けんから始めたようですが、今は固形が主流。用途も広く、使いやすいそうです。

また、捨てられた傘を利用した、エコバックも自信作。傘の柄によってはおしゃれなバックにもなり、会員のアイデアいっぱいです。



由布市ふれあい巡り、参加者を募集します

開催日▶12月1日(金)

広聴事業の一環として、「由布市ふれあい巡り ～ふるさと再発見～」を開催します。

由布市合併後1年が経過した中で、住んでいる地域外の市内を巡り、相互理解と郷土の文化・自然を実際に見て、お互いの融和を図ることを目的とします。

【挟間地域の方】＝庄内・湯布院巡回コース＝

(挟間庁舎出発) 8:30発 → 8:50着 (みことピア) 9:20発 → 9:30着 (庄内ゆうゆう館) 10:00発 → 10:50着 (男池) 11:40発 → 12:20着 (クアージュゆふいん) 昼食・見学
(市長講演) 14:00～14:30
(湯布院散策) 14:30～15:30 → (挟間着) 16:20

【庄内地域の方】＝挟間・湯布院巡回コース＝

(庄内庁舎出発) 9:00発 → 9:20着 (由布大分環境衛生組合) 10:00発 → 10:10着 (はさま未来館) 10:30発 → 11:00 (湯平温泉石畳散策) 11:30発 → 12:00着 (クアージュゆふいん) 昼食・見学
(市長講演) 14:00～14:30
(湯布院散策) 14:30～15:30 → (庄内着) 16:00

【湯布院地域の方】＝挟間・庄内巡回コース＝

(湯布院B & G海洋センター出発) 8:30 → 9:20着 (由布大分環境衛生組合) 10:00発 → 10:10着 (はさま未来館) 10:30発 → 11:20着 (男池) 12:00 → 昼食13:00発 → 13:30着 (クアージュゆふいん)
(市長講演) 14:00～14:30
(湯布院散策) 14:30～15:30 以降解散

- ◆巡回コースが変更となる場合があります。
- ◆全コースとも市の用意したバスで巡回します。
- ◆募集人員：【挟間地域の方】25人 【庄内地域の方】27人

【湯布院地域の方】22人 (バスの定員により募集人員が異なります。)

※なお、募集人員をオーバーした地域につきましては抽選となりますのでご了承ください。
※対象は市内在住者です。なお、短時間での移動スケジュールとなりますので、健康等に十分ご留意くださるようお願いいたします。

- ◆参加料：ひとり1,000円(昼食代、1日保険料を含みます)
- ◆申込み締切：11月24日(金)まで(必着)。なお、参加決定者には案内文書を送付します。
- ◆受付：ハガキ、またはメールでお申込みください。

その際、住所、氏名、年齢、電話番号をお知らせください(1日保険が必要となります)。

※なお、お申し込みは1回につき2名までできます。

お問い合わせ・申込みは 〒879-5498 由布市庄内町柿原302番地

市役所総合政策課広報広聴係 (☎097-582-1111 内線222) まで。

Eメール：info@city.yufu.oita.jp



「^(仮称)自治基本条例」制定検討委員会活動のお知らせ

まちづくり推進のための新しい条例を検討しています



▲自治の向上を図る検討委員会

由布市では、市民皆様がまちづくりに参加しやすくなるように、市民の役割及び義務、市議会・市役所の責務などを条例として定め、市民の協働による自治の向上を図りたいと考えています。

現在、「自治基本条例(仮称：名称については検討中です)」制定検討委員会を設け、委員の議論により条例原案を準備しているところです。

今後、条例の原案が完成しましたら、市民皆様への説明会を開催するほか、市の広報、ホームページをとおして公表し、ご意見をいただく予定です。

皆様からのご意見等を検討し、原案を修正ののち条例案として市議会に提案していく計画ですので、ご理解とご協力をお願いします。

章の構成	内容
前文	条例の概念、制定理念の強調
総則	目的、条例の位置づけ、用語解説
基本理念・原則	住民自治によるまちづくりの基本理念と原則
市民等の権利・役割	まちづくりのための市民・事業者等の権利と役割、責務
議会の役割・責務	市民の信託に応える議会の役割と責務
市長等の役割・責務	市民の信託に応える市長・職員の役割と責務
市政運営	総合計画の位置づけ、情報提供・個人情報取り扱い、行政評価の実施と公表、財政の健全運営に関する責務
連携	市外との連携促進によるまちづくりの深化、広域化
参画協働	計画等の市民参加、パブリックコメント、住民投票
環境・景観	環境保全と景観形成に関する役割・責務
条例の見直し	常に適正な条例であるための見直し規定

※構成については、今後の協議で変更となる場合があります。

(仮称)自治基本条例制定検討委員会委員名(敬称略)

【委員長】佐藤慎一 【副委員長】安部清美

【委員】小林華弥子、大窪美由紀、首藤順子、川野幸男、二ノ宮健治

◆お問い合わせは市総合政策課(☎097-582-1111 内線2203)まで。

祝 第7回 危険業務従事者叙勲

11月3日付けで第7回危険業務従事者叙勲が発令されました。
市内から2人の方が受章されました。およろこび申し上げます。

瑞宝双光章〔防衛功労〕

山口 忠昌さん(61) 湯布院・川上

※受章者の山口さんから、叙勲受章のよろこびのコメントを次のように寄せていただきました。

「自衛隊の組織を理解・評価の賜物で、その一員として戴き、身に余る光栄に存じます。
今後は、受章を汚さぬよう一層精進してまいります。

現職時の一番の思い出は、雲仙普賢岳の災害発生前からの現地確認から、災害発生当日から延べ50日間の災害派遣活動です。 山口忠昌」

瑞宝単光章〔警察功労〕

「思ひ出の保戸島勤務」

松丸 竹一さん(76) 挾間・古野郷

松丸さんは警察官として38年間勤務。公安業務から始まり、防犯、交通業務などを経験しました。「思いもよらぬことで感激しております」と受章の感想を話してくれました。

一番の思い出は、昭和59年から津久見市保戸島に赴任した2年間。県警から警察庁に向向し、長官命令での勤務となったそうです。「方言や生活習慣の違いで大変でしたが、島民の安全のために懸命でした」と当時を振り返ります。在任中は特に暴力、飲酒運転、窃盗事件の防止に尽力されたそうです。

現在はハーモニカ、カラオケや気功美容体操などボランティア教室を開催。また、警友会として防犯パトロール実施など、地域の安全を守り続けています。



由布市非核・平和都市宣言を制定

第3回定例議会で「非

核・平和都市宣言の制

定」に関する議案が可決

されました。宣言文は以

下の通りです。

由布市 非核・平和都市宣言

私たち人類は平和に生きる権利を持っており、平和は人類共通の願いであります。しかし、現実には核拡散や民族宗教、資源紛争などによる武力行使やテロ行為が頻繁に起きており、世界平和に深刻な脅威をもたらしています。わが国は過去に広島・長崎において世界唯一の核爆弾を体験しました。人類の存亡さえ危惧される核の脅威と悲惨さを忘れることなく、全世界に訴えていく歴史的責務を負っています。

由布市民は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念を心に強く刻み、反戦平和、核兵器の全面撤廃を目指していきます。更に、この地球上にあらゆる紛争がなくなる日まで、平和を求めていく揺るがぬ決意を持ち続けることを誓い、ここに非核・平和都市を宣言します。



第2期 由布市農業委員会委員が決定

由布市農業委員会は選挙委員30人、選任委員(市議会、農協、農業共済、土地改良区の推薦)8人の合計38人で組織しています。

農地のことはお気軽に、お近くの農業委員にご相談ください。委員会では毎月28日に総会を開催し、農地の売買・貸借・転用等、皆様からの申請等について審議しています。

由布市農業委員名簿

会長：油布丁一(挾間) 副会長：立川和夫(湯布院)・菊池孝行(庄内)

氏名	担当地区	氏名	担当地区
西郡均	朴木・赤野・丸田・東行・海老毛	小野萬壽蔵	大龍東部2区・大龍西部
二宮孝則	北方・下市・向原・挾間中村・柏野	佐藤文夫	龍原・五ヶ瀬
安東唯信	古野・三船	安部一彦	日ヶ暮・永十・伊小野・栢ノ木・高津原・中村
佐藤栄一	谷中村・小野・阿鉢・篠原		
後藤英一	高崎・山口・七蔵司・中台・来鉢東部、中部	小野善正	高津透内・久保・瀬口・中尾
馬見塚勲	筒口・田ノ小野・同尻	土屋邦利	柿原1区・2区・野畑3区・4区
油布丁一	上市・鶴田・下鬼崎・時松・茅場・鬼瀬池ノ上	甲斐善馬	西庄内・阿蘇野地区全般
		三重野精二	南庄内・阿南地区全般
小野和夫	谷東部・東ノ山・山田・中恵・酒野	田北トシ江	大龍東部1区・東庄内地区全般
橋本憲治	田代・詰・来鉢西部	縣次男	塚原
佐藤一富	谷地区全般	立川誠一	東石松1・2・3 西石松・山崎平・中依
小野廣	挾間地区全般		
小野二三人	石城・由布川地区全般	宇都宮健一	前徳野・内徳野・槐木・畑倉・下依奥江・上津々良・下津々良・鮎川
日野鶴喜	櫛木・蛇口・五福・小野屋		
佐藤君久	宗寿寺・竹の中・影戸・柚木・小挾間	幸野英俊	小平・幸野・水地
二宮和善	佐平治・橋爪・甲斐田・宇南水足 深谷・雲取・小松台	佐藤修治	岳本・津江・湯の坪・中島
		立川和男	荒木・石武・光永
菊池孝行	畑田・猪野竹の下・長野・葛原	加藤貞一	乙丸1・2・3 新町・1・2・3
伊藤克己	原中・井手下・上重・直野内山	江藤幸雄	並柳・若杉・佐土原
佐藤正義	平石・下武宮・中武宮・上武宮 蓑草・東家・小原	森山重成	湯平1・2・3・畑1・2・3
		河野修身	川上・川北・川南地区全般
麻生太次郎	淵5区・淵6区・淵7区	江藤明彦	中川・川西・湯平・下湯平地区全般

※お問い合わせは由布市農業委員会事務局(☎097-583-1111)まで。

～ゆふの森林構想・未来YUFUプラン(案)についての意見を募集します～

きます。そして、4つの循環『ゆふの森林循環・未来YUFUプラン』と顔が見える5つの地域コミュニティづくりの自治を大切にしたい、市民と行政の協働によるまちづくり『ゆふの森林構想・未来YUFUプラン』です。

3 将来像実現のためのゆふの森林循環

住んでいる人も訪れる人も いのちの循環を大切にする森林

自然と共生の循環

植物、動物、水、太陽、森、川、土、人、循環と共生

暮らしの循環

人と人、地域と地域の絆、相互に支え合うまちづくり

経済の循環

農林・商・工・観光、すべての経済の循環型社会

自治の循環

市民・議会・行政・NPOなど、協働による市民自治の確立

4 ゆふの森林づくり・未来YUFUプラン

まちづくりの7つの基本方針

1. 育み・未来YUFUプラン

■ 人や文化を“育む”まちづくり ● 教育・文化の充実

由布市は、みどり豊かなゆふの森林と深く関わりながら育んできた地域の歴史や伝統文化を子どもたちに継承し、市民が自由に生涯学ぶことのできる教育環境と地域文化を創造するまちづくりを目指します。

2. 環境・未来YUFUプラン

■ 自然“環境”を保全しながらも活かすまちづくり ● 自然環境の保全と活用

由布市は、大分川の清らかな水で結ばれ、美しく深い緑につつまれています。わたしたちは、いのちの循環を育むこの豊かな自然環境に感謝し、次世代に引継ぐまちづくりを目指します。

3. 安らぎ・未来YUFUプラン

■ 誰もが“安らげる”仕組みのまちづくり ● 保健・福祉の充実

由布市は、市民一人ひとりが、健康にそして安心して暮らせるように保健、医療、福祉の総合的な体制が整った安らぎに満ちたまちづくりを目指します。

4. 癒し・未来YUFUプラン

■ 住む人も訪れる人も“癒される”まちづくり ● 観光・交流の促進

由布市は、住んでいる人も訪れる人も、豊かな自然やまちの個性に、潤いや安らぎを感じることができるよう、もてなしの心あふれる癒しのまちづくりを目指します。

5. 暮らし・未来YUFUプラン

■ 快適で効率的な“暮らし”が実感できるまちづくり ● 生活・都市基盤の整備

由布市は、良好な住環境や公共交通網の整備などの生活・都市基盤を充実させ、自然と共生し、市民が豊かで快適な生活ができるユニバーサルデザインのまちづくりを目指します。

6. 実り・未来YUFUプラン

■ 産業振興により実現する“実り”のまちづくり ● 産業の振興

由布市は、ゆふの森林で育つ各産業が機能的に結びつき、それぞれの地域が培ってきた地域の個性や魅力を大切にしつつ、地域の特性に応じた産業が振興し循環するまちづくりを目指します。

7. 誇り・未来YUFUプラン

■ 市民とともにつくる“誇れる”まちづくり ● 住民参加・協働の促進

由布市は、このまちで暮らし、まちづくりに参加し、住んで良かったと実感できる誇りのもてるまちを市民と行政と協働で築いていくまちづくりを目指します。

由布市総合計画

由布市が目指す将来像は、『地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち』です。

由布市は目指す姿を実現するため、7つのまちづくりプラン「ゆふの森林づくり・未来YUFUプラン」を展開している『ゆふの森林コミュニティ・未来YUFUプラン』を実施していきます。それが、安全で安心な日本一の住み良さと地域

由布市総合計画基本構想(案)について、市民の皆様からのご意見を募集します。

総合計画は来年度から始まり平成27年度を目標年次とし、市の将来像やそれを実現するための政策に関する基本的な方向を示すものです。

今回、市民の皆様から頂いたご意見等をふまえ、平成19年3月に総合計画を策定する予定です。

総合計画についてのご意見・ご質問の方法・募集期間

★募集期間：平成18年11月1日から11月30日

ご意見等は、郵送、ファクス、または電子メールでお願いします。様式は問いません。また、意見提出の際には、あて先を総合政策課企画調整係宛とし、住所、氏名(団体名)、電話番号、ファクス番号、メールアドレス等を記入してください。

●提出及び問い合わせ先：総合政策課 企画調整係

〒879-5498 由布市庄内町柿原302番地

☎097-582-1111 内線221 FAX097-582-3971

E-mail info@city.yufu.oita.jp



1 まちづくりの基本理念

由布市は、「融和」「協働」「発展」を基本理念に掲げ、市民とともに『地域自治を大切にした安全安心な日本一住み良いまちづくり』に取り組んでいくことを基本にします。

2 将来像実現のための 地域コミュニティづくり

生活環境
快適・美化

●地域ぐるみで
快適環境コミュニティづくり
花いっぱい運動・清掃活動 など

防災・防犯
安全・安心

●地域ぐるみで
安全・安心コミュニティづくり
自主防災組織・交通安全活動 など

子ども健全育成
子育て・子育て

●地域ぐるみで
子どもの健全育成コミュニティづくり
子育てサークル・子ども会活動 など

福祉
見守り・支援

●地域ぐるみで
見守り・支援コミュニティづくり
身近な介護・交流活動・見守り活動 など

文化・スポーツ
ふれあい・交流

●地域ぐるみで
生きがい活動コミュニティづくり
お祭り・スポーツ大会・文化活動 など

市民生活の

足

の確保を目指して

由布市地域交通計画を策定

由布市地域交通会議

市長を議長とし九州運輸局大分運輸支局、大分県、警察、市民代表など9人で構成。由布市内の地域交通のあり方を定めた由布市地域交通計画について、協議・調整を行うために設置。



市は今後の公共交通施策として、市民アンケート調査で9割以上の方が「必要がある」「やむを得ない」と回答したコミュニティバスの導入について積極的に取り組みます。このほど市民の皆さんで構成された市民交通対策検討委員会で取り組み内容をまとめた「由布市地域交通計画」が、由布市地域交通会議で承認されました。

この計画は平成18年度から平成21年度までの4年間で実行することになっています。今回はその概要をお知らせします。

来年1月から、この計画に沿った試験運行を始めます。試験運行については、別途お知らせします。



コミュニティバス導入の基本方針

- ・高齢者や遠距離通学生徒などの交通弱者の移動手段として運行。
- ・路線バス廃止による空白地域の解消のために運行。
- ・コミュニティバスは市民だれでも利用できるものとして。また、スクーパバスもコミュニティバスの一部とし、一般の方も乗車できるようにします。



2007年版

大分県民手帳を販売します

暮らしやビジネスに役立つ、ふるさと情報満載の便利手帳です(大分県統計協会発行)。

価格 大型 500円 (14.9×8.7cm)
小型 400円 (12.7×7.7cm)

内容

日記編…カレンダー、県内の主な行事、月間予定表、日記など
資料編…大分県の概要、都道府県別データ、県内市町村別データ
名簿編…県議会議員、市町村役職者、県行政組織など
生活編…郵便料金表、公営宿泊施設、県の相談窓口など

販売開始日 12月上旬

購入方法

挾間・庄内・湯布院の地域振興課で取り扱っています。代金を添えてお申し込みください。

問い合わせ 総合政策課統計係
☎097-582-1111 内線223

小野屋駅が建て替えられます

昭和7年建設の小野屋駅が老朽化のため、建て替えられました。



小野屋駅▲

駅舎はJRが建設します。市では建て替

えに合わせて公衆トイレを駅舎との合築により設置します。

なお、工事期間中は仮駅舎が設けられます。

工事期間(予定)

平成18年12月上旬～平成19年3月中旬

問い合わせ

総合政策課企画調整係
☎097-582-1111 内線217

具体的な取り組み

コミュニティバスの路線は

現在の福祉バスの路線を基本とし、市民アンケート調査で要望が多かった医療施設や買い物に便利なコースとします。

3町を結び国道210号を運行する長距離ルートを検討します。

乗車率の低迷する路線は、休止等の見直しを行います。

アンケート調査で要望の多かった乗車時間の短縮につ

いては、1時間以内を目指します。

バス停の配置は

バス停を設置し乗り降りはバス停としますが、自動車通行量の少ない山間部ではフリー乗降できないか検討します。

バス停の間隔は、高齢者に配慮します。

コミュニティバスの運行は

運行日：福祉バスに替わる

コミュニティバスは現在、

平日週1便を週2便に増便します。スクールバスは平日及び出校日に運行します。朝1便、夕は2便運行します。

運賃：持続可能な運行を行うため、ある程度の利用者負担が必要と考えています。

金額については、市民アンケート調査を踏まえて検討します。ただし、障がい者等に対しては割引制度を設けます。

現在の路線バスは

市外への路線は廃止に替わる代替措置がないことから、市が補助金を交付して路線を維持する方向で検討します。

市内を運行する路線バスは費用対効果と利便性を考え、コミュニティバスへの一本化を目指します。

問い合わせ

総合政策課企画調整係
☎097-582-1111
内線217

地域のことは地域で!

「由布コミュニティ事業」実施中 (地域の底力再生)

地域自治コミュニティ振興によるまちづくり

地域力(魅力・自慢・課題)を点検!

地域を取り巻く

現状

最近のマスコミ報道をみると、地域コミュニティ機能の低下が一因と思われるようないたましい事件が多くみられます。

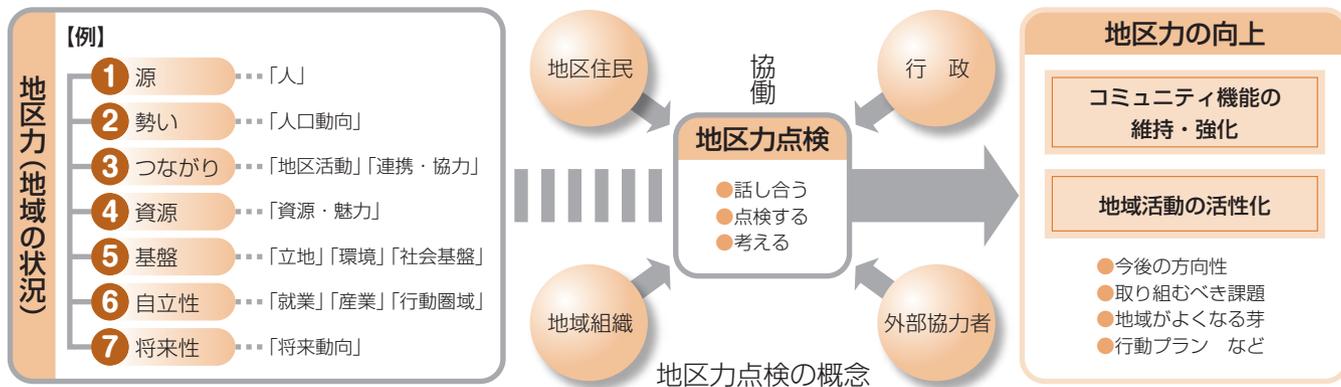
少子高齢化や高度情報化が進み、地域における人と人とのふれあいが希薄なものになってきている面はないでしょうか。新しい時代に対応した連帯感のある地域社会(地域自治コミュニティ)の創造が求められています。

これからの地域づくり

地方分権による権限委譲や市財政の逼迫化等が進む中、これからの地域づくりは、行政主導ではなく、住民の皆さんが主体的に参加し、積極的に役割を担うことが求められています。

由布コミュニティ(地域の底力再生)事業は、地域の皆さん自身が、地域の現状(魅力、自慢、問題点など)を点検し、それを活かす方策や改善策を自ら考え、地区計画としてまとめ、出来ることから実施することを目的としています。点検、計画作成の過程では、多くの地域住民の参加による情報・意識・意欲・目標の共有が重要です。そのためにワークショップ(小グループ会議方式)などの手法を取り入れ、住民の皆さんの総意による地域づくりを目指しています。

実施地区は公募で選定し、狭間地域は由布川東部4地区(まちづくり連絡協議会(古野、古野郷、医大ヶ丘三丁目、サントピア古野)、庄内地域は大津留振興会、湯布院地域は湯平地区でモデル事業として実施しています。市も地元職員を中心とする推進チームを編成、住民の皆さんとの協働で、作業を進めています。進捗状況については、随時、市報で報告する予定です。



平成18年分
年末調整について

「年末調整」は、給与の支払いを受ける方について、給与などの支払いの際に、源泉徴収をした税額と、その年の給与の総額における納めるべき税額とを比べて、その過不足を精算する手続きで、給与の源泉徴収の総決算ともいえるべきものです。本年の年末調整等については、次のとおり「税制改正」が行われていますのでご注意ください。

●平成18年分の定率減税の額が引き下げられました。

定率減税の額が引き下げられ、平成18年分の定率控除額が、定率控除前の所得税額の10%相当額(最高12万5千円)となりました。

●平成18年1月から「源泉徴収税額表」が変わっています。

定率減税の額が引き下げられ、平成18年1月1日以後に支払うべき毎月(日)の給与や賞与の源泉徴収の際に使用する税額表が、定率減税の額の引き下げを織り込んだものに改められています。

問い合わせ

大分税務署法人課第7部門
☎097-532-4186

個人事業税の納税をお忘れなく

11月15日(水)は、個人事業税の第二期分の納期限です。忘れずに納めましょう。

また、個人事業税の納税には、便利な口座振替の制度がご利用になれます。

※個人事業税は、前年1年間の事業の所得金額が290万円を超える個人事業者に課税されます。

問い合わせ

大分県税務所課税第一課

☎097-506-5773

〈口座振替の問い合わせ〉

大分県税務所納税課

☎097-506-5775

ご存じですか

e-tax

国税電子申告・納税システム(e-tax)を利用することにより、国税に関する各種手続きを、自宅にいながらにしてインターネット等で行うことができます。

○詳しくはホームページを。

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

○質問はヘルプデスクへ

☎0570-015901

(全国一律市内通話料金)

平日の午前9時〜午後5時まで。

県畜産共進会で高い評価

肉用牛などの育種改良や経営の合理化並びに畜産物の消費拡大を目的に、第67回大分県畜産共進会が、別府公園で開かれました。由布市からは11頭が出品され、全6区のうち4区で名誉賞(首席を獲得する好成绩となりました。表彰者は以下のとおり(敬称略)。

●大分県畜産共進会・名誉賞

第1区 鈴木新蔵(湯布院)

第3区 渡辺由岳(湯布院)

第5区 浜田喜代子(湯布院)

第6区 若杉義人(庄内)

●肉用牛高齢者表彰

栃木寿信(挾間)

甲斐実蔵(庄内)

三野建一(湯布院)

●畜産功労者表彰

佐藤嘉勝(庄内)



地域の活性化を目指して コミュニティ助成事業

平成18年度宝くじの収益金を財源とするコミュニティ助成事業により、湯布院地域の並若神楽社(並柳、若杉、佐土原地区)によるコミュニティ組織が、神楽衣装等の用具費の助成を受けました。

穴井三敏神楽社社長は「神楽衣装の新調によって活動の活性化を図り、後継者の育成や世代間交流、顔の見える地域の形成に役立てたい」と気持ちを新たにしています。



ゴミの新分別が始まります

試行期間

- 平成19年2月から3月
- 4月から
完全実施となります



平成19年2月から、 11分別での収集を開始します！

あらかしの森林通信／市報ゆふ10月号に、ごみの分別が「平成19年4月より、6品目から11品目へ変わります」と掲載しましたが、4月からの完全分別収集を目指すため、実施時期を早めて2月から3月の2ヵ月間を、試行期間として11分別での収集を実施することにいたしました。

由布市と大分市との不燃物共同処理施設「リサイクルプラザ」（仮称）が完成し、ごみの排出量を減らし、リサイクル化を進めて行く目標の中、従来どおりの分別では、混入が多ければ目標を達成することの困難が予想されることから、啓発・推進の月間と定め実施をいたします。

2月から3月の間は、「ごみの正しい出し方の収集日程」は変わりません。

市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

お問い合わせは

- 市環境課（☎0977-84-3111）、
- 由布大分環境衛生組合（☎097-583-0862）まで。

市営住宅入居者の募集

● 物件名・募集戸数

アウル石城団地1戸（F-2）
〔所在地…挾間町来鉢〕

● 住宅概要

木造1階建て・3LDK（1棟2戸建て）

● 家賃

月額46,000円（敷金138,000円）

● 受付期間

11月6日（月）～11月30日（木）
※土日・祝日を除く

● 受付場所・問い合わせ

挾間庁舎建設課（☎097-583-1111）
※申し込み多数の場合は抽選となります。

環境に関するマーク

商品には、いろいろな識別マークがついています。
家庭ごみを分別する際など参考になります。



飲料・酒類用
スチール缶



飲料・酒類用
アルミ缶



紙製容器包装



プラスチック製容器包装
（ペットボトルを除く。）



PET
飲料・酒類・しょうゆ
用のペットボトル



ダンボール



紙パック

幼稚園児募集

平成19年度市立幼稚園児（庄内地域・湯布院地域）の募集を行います。

西庄内幼稚園・阿南幼稚園

- 受付期間…11月13日(月)～12月13日(水)（土・日・祝日を除く）
- 受付場所…西庄内幼稚園、阿南幼稚園、由布市学校教育課
- 入園資格…**5歳児**…平成13年4月2日生まれ～平成14年4月1日生まれ
4歳児…平成14年4月2日生まれ～平成15年4月1日生まれ
- 必要書類…幼稚園入園願（書類は由布市学校教育課、各幼稚園に用意しています）
- 保育日…月曜日～金曜日（土・日・祝日は休園）
- 預かり保育…午後2時～午後6時 ・夏休みなどの長期休暇も預かります。
・詳しいことは説明会でお話しします。
- その他…月曜日～金曜日は給食を実施しています。
- 申込・問合せ先…学校教育課（☎0977-84-3111）
西庄内幼稚園（☎097-582-3040） 阿南幼稚園（☎097-582-1757）

由布院幼稚園・湯平幼稚園

- 受付期間…11月13日(月)～12月13日(水)（土・日・祝日を除く）
- 受付場所…由布院幼稚園、湯平幼稚園、由布市学校教育課
- 入園資格…**5歳児**…平成13年4月2日生まれ～平成14年4月1日生まれ
4歳児…平成14年4月2日生まれ～平成15年4月1日生まれ
- 必要書類…幼稚園入園願（書類は由布市学校教育課、各幼稚園に用意しています）
※対象児の家庭には、別途案内状を送付します。
- 保育時間…月曜日～金曜日（午前8時30分～午後2時30分）
※園は午前7時40分から開いています（土・日・祝日は休園）。
- 預かり保育…午後2時30分～午後6時
・夏休みなどの長期休暇も預かります。
・詳しいことは説明会でお話しします。
- その他…毎日お弁当が必要です。
- 申込・問合せ先…学校教育課（☎0977-84-3111）
由布院幼稚園（☎0977-84-2038）
湯平幼稚園（☎0977-86-2704）



戦傷病者等の妻の方に

特別給付金が

支給されます

■特別給付金国債の最終償還を終えた戦傷病者等の妻の方に、改めて特別給付金が国債により支給されます。

■戦傷病者等の妻に対する特別給付金を平成18年5月まで受給したが、夫である戦傷病者が平成15年3月31日までに死亡している場合、その妻の方に特別給付金が国債により支給されます。

◎戦傷病者が公務傷病等により死亡したため、その妻が公務扶助料等を受けている場合：戦没者等の妻に対する特別給付金

◎夫である戦傷病者が公務傷病等以外で死亡(平病死)した場合：戦傷病者等の妻に対する特別給付金(特例給付)

■平成15年4月1日において新しく戦傷病者等の妻に該当することとなった場合、特別給付金が国債により支給されます。
※継続して受給される対象者の方には、個別に通知をしています。

問い合わせ 福祉対策課福祉係 (0977-84-3111 内線311)

パソコンインストラクター



派遣

パソコン操作で困ったとき、自宅等にパソコンインストラクターを派遣して操作を教えます。
対象者 パソコンの取得、利用を希望する身体障がい者

場所 自宅、施設等

派遣料 無料

訪問回数 総訪問回数が決まっているので、希望に応じられない場合があります。

問い合わせ

福祉対策課

(0977-84-3111 内線317)

おしえて！国民年金

11月は年金月間です

国民年金はみんなのための公的年金制度です。この機会に年金について考えてみませんか。

年金相談・納付相談会の

お知らせ

年金月間の期間中に休日開設を予定しています。詳しくは、お近くの社会保険事務所にお問い合わせください。

※年金相談の際、お持ちいただくもの：年金手帳、年金証書、委任状(代理の場合)

平和の誓い新たに

由布市として初めてとなる戦没者追悼式が10月26日、遺族など約300人が出席し、はさま未来館でしめやかに執り行われました。

式典では黙祷後、首藤市長が「戦没者の方々のふるさとへの思いを受け、新生由布市としてしっかり歩みを進め、安心して暮らせるまちにしたい」と式辞。続いて、遺族会代表者などによる献花や追悼吟で、市内出身者の冥福を祈り、恒久平和を誓いました。



ダイヤモンド婚・金婚について

由布市では、今年からダイヤモンド婚・金婚を迎えるご夫妻を、由布市社会福祉大会において披露し、祝福いたします。届出締切日までに届け出をいただいたなかで、該当するご夫妻をお招きします。該当すると思われるご夫妻は、ぜひお届けください。



対象者

ダイヤモンド婚

市内在住で、結婚60年を迎えたご夫妻 (昭和21年1月1日～12月31日の間に婚姻届を提出されたご夫婦)

金婚

市内在住で、結婚50年を迎えたご夫妻 (昭和31年1月1日～12月31日の間に婚姻届を提出されたご夫婦)

届出書提出先

各庁舎福祉係の窓口 (届出書は福祉係窓口にあります。届け出は代理人でも構いません)

届出締切日 12月28日(休)

開催日 平成19年2月～3月(予定)

開催会場 はさま未来館

※該当・非該当については確認ができればご通知します。

問い合わせ 福祉対策課 ☎0977-84-3111 内線311

こんにちは！

庄内町母子保健推進員です

由布市合併後、旧庄内町・湯布院町で長く活動を続けていた母子保健推進員組織を全市に広げ、それぞれの地域で特色ある由布市の子育て支援活動を展開しています。

今回は、庄内町母子保健推進員の活動を紹介します。

庄内町母子保健推進員会の発足は昭和43年とその歴史は長く、母子を支える組織として活動を続けてきました。平成7年からは子育て支援の視点を取り入れ、「子育て環境はどうあったらいい？」をテーマに活動を展開してきました。

現在、17人のメンバーで活動中です。9月には、読み聞かせグループが、「出前子育て支援活動」の一環として、ドリームタウン五ヶ瀬へ出かけ、絵本の読み聞かせや指遊びなど楽しい催しを行いました。1時間程度の短い時間でしたが、子どもさんにもお母さんにも大変喜んでいただき、とても楽しい会となりました。10月には、むし歯予防の啓発のため、人形劇やむし歯博士をして、由布川保育園に出かけて好評をばくし、今後

地域内外からの依頼でスタッフ一同大忙しです。今年も12月14日に、毎年恒例のクリスマス会を開催します。

庄内の母子保健推進員の特徴は、男性メンバーがいることです。子育ては、女性だけのものではない、男性の視点や協力も絶対に不可欠の思



クリスマス会



◀読み聞かせグループ「ぴよんぴよんうさぎの会」

健康カレンダー

- | | | |
|------------|---------------------------|--------------------------------|
| <p>挟間</p> | 11月10日(金) | ちびっこ広場 (9:30 挟間健康センター) |
| | 11月15日(水) | 1歳6カ月児健診 (13:15 挟間健康センター) |
| | 11月17日(金) | ちびっこ広場 (9:30 挟間健康センター) |
| | 11月24日(金) | ちびっこ広場 (9:30 挟間健康センター) |
| | 11月24日(金) | おたまじゃくしの会 (13:00 挟間健康センター) |
| 11月29日(水) | 4~5カ月児健診 (13:30 挟間健康センター) | |
| <p>庄内</p> | 11月10日(金) | 乳児健診 (13:15 庄内保健センター) |
| | 11月24日(金) | わんPAKU教室 (9:30 庄内保健センター) |
| | 11月28日(火) | ぴよんぴよんうさぎの会 (10:30 ドリームタウン集会所) |
| | 12月 1日(金) | 幼児健診 (13:15 庄内保健センター) |
| | 12月14日(木) | 母子推進員のX'mas会 (10:00 庄内保健センター) |
| <p>湯布院</p> | 11月16日(木) | 4・5カ月児健診 (13:00 湯布院健康管理センター) |

インフルエンザ予防接種をうけよう！

インフルエンザは伝染力が強く症状の重い悪性のかぜで、ときには世界的な大流行が起こります。肺炎・急性中耳炎・脳症などの合併症を起こして重症化する場合もあります。



地域保健委員会予防接種感染症対策委員長 ▶ 宮崎士郎さんに聞きました。

予防にはワクチンが有効

インフルエンザワクチン接種で重症化を防ぐことができます。特に乳幼児や高齢者、慢性疾患をもつ人たちに積極的な接種をお勧めします。

希望者は最寄りの医療機関で受けられます。流行する前に受けてください。接種回数は、高齢者では1回接種と2回接種ではその効果は大差ないという研究成績があります。ただし、13歳未満は2回接種となっています。また、免疫の持続は接種後2週間から5カ月程度です。詳しくは、医療機関でご相談ください。

※65歳以上の人は自己負担1,000円で受けられます(市報10月号掲載)。

手洗いうがい人ごみを避けるなども大切です。

11月からの早い時期がよい

●問い合わせ
健康増進課 (☎0977-84-3111 内線333)



地上デジタル放送の準備のため

「湯平中継放送局」から放送している
OBS大分放送のテレビチャンネルが変わります

平成19年2月28日(水)に、現在放送しているOBS大分放送テレビ(42チャンネル)は放送を終了します。

湯平中継局(湯平温泉北部の山上)からの電波を受信されているご家庭では、リモコンの再設定をしないとOBS大分放送テレビの放送が見られなくなります。また、湯平局を受信している共同受信施設では受信部機材の交換・変更工事が必要になる場合があります。

湯平中継局	現在のチャンネル	新しいチャンネル	対策期間
OBS大分放送テレビ	42	47	2月10日~2月28日

●湯平中継局を受信している家庭へは、パンフレットを郵送しています。チャンネル再設定はご自分でもできますが、希望される方には指定工事担当者がお伺いしますので、下記までご連絡ください。なお、個人の場合、この変更に伴う対策工事は無料です。お金が請求されることはありません。

大分地域受信対策センター

フリーダイヤル 0120-660-934

携帯・PHS・公衆電話 ☎097-532-2244

【受付時間】平日 9:00~21:00

土日・祝日 9:00~18:00



第2回 由布市 入場無料

いのちの循環を 大切にする市民の集い

- 日時 12月6日(水) 午後1時~4時
- 場所 はさま未来館
- 記念講演
ハートフルトーク&コンサート
「ほら、生きてるよ!一生懸命生きてるよ!」
講師 奥寺由起子(ソプラノ歌手)

プログラム

開会行事 13:00~

人権作文、標語、ポスター表彰 13:30~

最優秀作文朗読

人権映画上映

ハートフルトーク&コンサート 14:45~16:00

問い合わせ

人権・同和対策課

☎097-582-1111 内線307・308

お問い合わせ
保険課国保係
☎0977-84-3111
内線364

ただし、年末調整でどうしても年内に証明書が必要な方については、市役所湯布院庁舎保険課国保係または、挟間・庄内庁舎市民サービス課保険係で、その時点での納付金額等が確認できる証明書を発行いたしますので、申請を行ってください。

確定申告に必要な国民健康保険税に関する社会保険料控除証明書(18年1月~12月に納付した国民健康保険税額の証明書の送付を19年1月半ばごろに予定しています。

国保からの

お知らせ



今月の税

- 国民健康保険税……………6期分
- 国定資産税……………4期分
- 入湯税……………11月期分(10月分)
- 介護保険料(普通徴収)6期分

納期限 平成18年11月30日(木)

休日在宅当番医

●内科・外科医

11/12 森本整形外科クリニック(挟間) ☎097-586-3700

11/19 佐藤医院(庄内) ☎097-582-3131

11/23 南由布クリニック(湯布院) ☎0977-85-5245

11/26 さとう消化器・大腸肛門クリニック(挟間) ☎097-583-8050

12/ 3 足立クリニック(湯布院) ☎0977-28-2226

12/10 ごとう医院(挟間) ☎097-540-7800

12/17 森整形外科医院(挟間) ☎097-583-3077

●歯科医

12/10 野上歯科クリニック(湯布院) ☎0977-85-4676



人の動き

●総人口	36,708人
●男	17,619人
●女	19,089人
●世帯数	14,587戸

10月末 ※住民基本台帳より

発行元

由布市役所庄内庁舎総務部総合政策課
〒879-5498 由布市庄内町柿原 302 番地
TEL097-582-1111 FAX097-582-3971
<http://www.city.yufu.oita.jp/>
印刷：株式会社インタープリント

キ★ラ★リ★編★集

2月からの始まった市政懇談会も、今月で市内全ての校区で終了となります。あらためて感じたことは由布市は広いということ。合併前は一度も立ち寄ったことのない場所に訪問することができて貴重な経験でした。おかげで道も覚え、ちょっとした発見もあり、由布市の良さを再認識できました。休日は市内巡りで穴場な場所を発見したいと思っています…。

(こ)

9月は真っ赤な彼岸花、10月に入ってからにはピンクや白のコスモスが、市内を彩ってくれています。花いっぱい運動で取り組んだ国道210号のコスモスも、きれいな花を咲かせています。今年は今まで以上にきれいなコスモスの帯ができました。国道を車で走っていると、きれいだなぁと、ついながめてしまいますが、皆さんよそ見運転にはご注意ください！

(ゆ)

おんぼろは

市長です

No. 11

文・首藤 奉文



▲ボンネットバス出発式にてテープカット

ごろ父が「水が来たごたるぞ」と私を起こし、水が田に当たっているの起きて田起こしをしておけと言ったのです。私は起きて耕運機と一緒に、あらあけ（荒田を起こす

みなさんこんにちわ。市長です。

私が23〜28歳のころ田起こしや代かきなどはすべて耕運機でした。今は井路も改修されて田植え時期に水の心配はありませんが、昭和40年ごろは素掘りの井路でしたから、末路に当たるとわが地区の田にはなかなか水は来ませんでした。それで水当番を決め、当番は夜中に湯平の取水口まで行き、地区まで水を連れて帰っていました。夜中の1時ごろ父が「水が来たごたるぞ」と私を起こし、水が田に当たっているの起きて田起こしをしておけと言ったのです。私は起きて耕運機と一緒に、あらあけ（荒田を起こす

こと)をしたものです。

今年はその耕運機と40年振りに仕事をしました。これまで私の趣味の野菜作りはすべて鎌で畑を起こして行きました。行事で土曜、日曜日を休めなくなり、それが出来なくなりました。そこで思いついたのが耕運機です。耕運機なら時間もかからずに畑が起こせます。40年も経っているのだめかと思っていたのですが、ちょっと修理をただだけで昔のまま動いてくれました。カンカンと黒い煙を吐きながらエンジンがかかったときは感動致しました。もう使われることは無く、捨てられるだろうと寂しく思っていたであろう耕運機も、喜んで生き生きと働いてくれたように感じました。私も親友に再開したような喜びを感じました。お陰で今年もたくさん野菜を植えることが出来ました。

今日、私たちは新しく便利のよいものを追い求め、古くなったものはまだ十分使うことのできるものまで簡単に捨ててしまっています。新しいものを求めたり、速さを求めることも必要ですが、そのことによって私たちは何か大切なものを失っているような気がしてなりません。



日本ゆふ

UFU

2006
NOVEMBER
11
Vol.14

City情報広場



まちのスポットライト
ハッピーバースデー／さわやかキッズ
まちかどズームアップ
DEAR 図書館だより
由布市文化財探訪
みんなのひろば

由布の秋空に向かって絶叫!

PH: 10月9日開催の「牛喰い絶叫大会」より



まちの スポットライト

vol.13

このコーナーは
「元気な人とまち」を応援するために
シリーズで掲載しています。

佐藤さんは第5回大会(昭和60年)から大分合同漢字検定に挑戦。「博士」は受検者の中の最高得点者に贈られるもので(既に博士を取得した者を除きます)、200満点中191点の好成績で見事に博士に輝きました。

60歳過ぎまで大工の棟梁^{とうりょう}として活躍されましたが、「漢字博士認定大会に出てみよう」というチャレンジ精神で漢字検定の道へ。その後は持ち物をノコヤ金づちから筆に変え、漢字の勉強に専念するようになりました。勉強時間は1日約2時間。新聞紙面の問題や市販の問題集を手に入れ、読み書き、対義語、同義語や四字熟語など漢字に関する問題に取り組んでいます。「家事などで十分な勉強時間が取れませんが…」と話しますが、「覚えようという意欲が大切」とその集中力とやる気が輝いているようです。

第22回で修士(成績優秀者)を取得。「漢字を通じて日本の文化を学ぶことができますし、漢字は奥が深い」。検定試験では毎年新しい問題が出てくるそうです。

この他にも日本漢字能力検定などにも挑戦中。1級を得ているにもかかわらず、毎年受検しているそうです。年間およそ8回の漢字検定をこなしています。「上の位置にいる以上、下がらないように毎日の勉強を止めたらだめ」と佐藤さん。

漢字検定の道に進んだため、それまで大好きだった囲碁をピタリと止めたそうです。「漢字検定のためにはやむをえないことでした」と説明しますが、好きな趣味を思い切って止める決断力と実行力には脱帽です。

現在は自宅で娘さん夫婦と暮らしており、お孫さんのよき漢字先生として指導に当たっています。

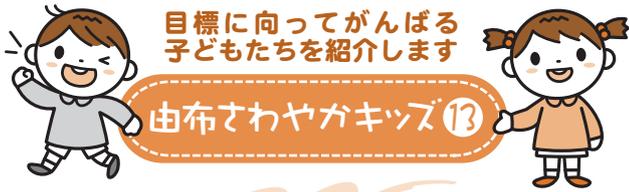
勤労を経て現在は勤勉へ。生きがいとなる漢字学習を佐藤さんは今日も続けています。

「体力の続く限り、漢字を学びたい」

第26回大分合同漢字博士

佐藤 昭一さん(78) 庄内地域・畑田





目標に向かってがんばる
子どもたちを紹介します

由布さわやかキッズ13

優雅な動きを楽しく披露

湯布院子どもバレエ教室

今年で結成20年目。幼児・児童科A(小学1、2年生クラス)と児童科B(4、5、6年生)の2クラスに(現在3年生は在籍していません)、合わせて19人の子ども達が元気よく練習に励んでいます。音楽やリズム、そして指導者の大きな声に合わせて、回転や跳躍を披露しています。今は11月19日開催のゆふいんオータムフェアに向けて練習中。

「バレエを通じて感性を高めてほしい。上手く演じることも大事ですが、なによりも楽しくやるのが一番!」と教室関係者は言います。

舞いの中での顔の向き、表情、足の動きなどひとつひとつが華麗な演技となり、見る者を魅了させてくれます。生徒は全員女子。美しさとかわいらしさが現れています。

幼児・児童科Aは毎週金曜日の午後3時30分から4時30分まで。立川亜梨沙さん(小2)は「上手にできるようにがんばりたい」とバレエが楽しい様子。児童科BはAに続いて4時30分から5時30分



まで練習。姫野茉莉有子さん(小6)は「楽しくやりたい」と抱負を話します。

現在、生徒を募集中。練習場所は湯布院公民館視聴覚室です。お問い合わせは岡さん(☎0977-84-3883)まで。



(写真上) 幼児・児童科Aクラス
(写真下) 児童科Bクラス

ハッピー11月バースデー

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!



やない まさとも
柳井 雅友くん

平成17年11月1日生 挾間町北方

末っ子まさくんは
とっても甘えん坊。
みんな笑顔に
癒されています。

さとう さくら
佐藤 桜ちゃん

平成17年11月24日生 湯布院町川北

1歳のお誕生日
おめでとう。
いつまでもお姉ちゃん、
お兄ちゃんと仲良く
元気に育ってね。



ゆふ みつき
油布 光希くん

ゆふ かえで
油布 楓ちゃん

平成17年11月16日生 挾間町下市



やんちゃ坊主の光希くん
おっとり屋さんの楓ちゃん。
二人はいつも仲良し。
これからも二人仲良く
元気に育ってね。

※お誕生日コーナーにお子さんの写真を掲載したい保護者の方は、事前に総合政策課(☎097-582-1111内線222)へ電話でお申し込みください。対象は3歳以下で、旧3町広報紙のお誕生日コーナーに掲載されたことがない方とします。12月号掲載分は、11月24日締切とします(先着順)。

まちがどズームアップ

味覚

梨のアイデア料理

10月11日、庄内町商工会主催の「梨を使った料理コンテスト」が庄内庁舎で開かれました。料理部門と菓子・デザート部門に市内外からあわせて22料理が出品。いずれも趣向と工夫を凝らした料理ばかりで、そのアイデアと味に審査委員もうなるほどとなりました。審査の結果、馬麗英さん(大分市)の料理部門出品作「魚の甘酢あんかけ」が最優秀賞に選ばれました。



防犯1

イカのおすし

10月16日、大分南地区防犯協会連合会と大分南警察署から小学生たちに、防犯用語が書かれた下敷きが贈呈されました。贈呈式は庄内庁舎で開催。大分南署管内の大分市小学生と由布市小学生のうち3年生以下の児童に贈られた下敷きには、(行かない、乗らない、大声で叫ぶ、すぐに逃げる、知らせる)の頭文字「イカのおすし」が記載されています。由布市小学生を代表して佐藤晃成くん(東庄内小3年)が「下敷きを大事に使いたい」と受け取りました。



防犯2

友だちを救いたい

先般、庄内町商工会青年部では防犯に関することをテーマにした標語を市内在住の高校生以下の方を対象に募集しました。その結果10点の応募があり、審査の結果、由布高校2年生の河野一也さん(湯布院地域出身)の標語「その勇氣 友達救う 命づな」が最優秀賞を受賞しました。河野さんは「物騒な世の中なので、自分も役に立つことをやっていきたい」と受賞の感想を話しました。



復活

寅さん映画のロケ地

湯平駅および湯平地区は、映画「男はつらいよ」シリーズ第30作目のロケ地としても知られています。10月17日に、湯平温泉観光協会により駅待合所がリニューアルされ、ロケで使用されたベンチも「縁結びのベンチ」として復活しました。待合所内にはロケ当時のスナップ写真が飾られ、なつかしい写真に駅利用者も見入っていました。協会関係者は「湯平駅を寅さん映画の思い出の地として、地域活性化につなげたい」と話しました。



運行

秋の由布路へ

由布院駅前と湯平温泉街を結ぶボンネットバスの出発式が10月21日、由布院駅前で行われました。式では最初に神事が行われ、関係者およそ20名が運行の安全を祈願。第1便は湯平幼稚園児を乗せて駅前から湯平温泉街へ向けて出発しました。ボンネットバス「やまなみ号」は11月26日までの土、日曜に1日往復2便が運行。湯平温泉観光協会や地元バス会社の協力で3年前から運行しています。



推進

ボランティアについて考える

10月28日、大分県地域ボランティア活動推進フォーラムが、県内外から約240人が参加し湯布院公民館で行われました。湯布院地域でのボランティア活動の事例発表やパネルディスカッションでは、活動のあり方や安全なまちづくりについて考える機会となりました。また、受付やごみ拾いなどで、湯布院地域の中学生や高校生がボランティアとして積極的に参加してくれました。

収穫

楽しい体験

挾間地域の宮田保育園の園児による稲刈り体験が10月21日、時松自治区にある交流農園で催されました。これは中山間事業の一環で、昨年、およそ2,000㎡の田畑を同保育園が5年間の利用協定を結びました。今年度が第1期であり、もち米一俵、米7俵が収穫される予定です。稲刈りでは園児達が保護者や地域関係者と一緒に体験。収穫された米などは保育園で使用されます。



ごぼうの収穫もありました▶

交流

実りの秋がやってきた

秋晴れとなった10月15日、庄内地域久保地区で大分市などから約30人が参加し、農業体験会が行われました。

都市との交流を目的にしたもので、地元の農業者グループ「しゅうや会」の皆さんが指導。参加者は、黄金色に実った稲穂をかまで刈った後、かけ干しなどを体験。また、地元の食材で用意されたおいしい昼食を食べた後、さつまいもの芋掘りや田んぼのなかでのグランドゴルフも行われ、互いに交流を深めた一日となりました。



図書館だより — Vol.14

DEAR ディア

由布市立図書館

☎097-586-3150

http://www2.town.hasama.oita.jp/
mail:h.tosho@city.yufu.oita.jp



夢に坊やは
夢に坊やは雲に乗る
ひらりまたがり空を飛ぶ
夢に坊やは月にゆく
ちらりお星と話す
夢に坊やはえらくなる
赤い帽子に金の靴
夢に坊やは花になる
鳥にもなつて遊ばれる
夢に坊やは脚本よむ
英語の本よみ話する
夢に坊やは強くなる
やっぱり母さまそばにゐる

後藤楯根詩集

「月夜の棉畑」より

読書の秋の行事のお知らせ

* 11月18日(土)・19日(日) 湯布院公民館まつり

時間：10：00～15：00

場所：湯布院公民館ロビー

「ブックリサイクル」(リサイクル用に寄贈された本、雑誌をお分けします。)いい本の掘り出し物があるかも。

* 11月の下旬に、あのミンダナオに子ども図書館を作った松居 友さんが挾間町にやってくる。詳しいことが決まり次第またお知らせします。お楽しみに！



* おはなし会「おはなしゆきだるま」(出演「おはなしきびだんご」)

時間：18年12月9日(土) 13：30～15：00

場所：湯布院公民館・視聴覚室

プログラム：絵本の読み聞かせ・紙芝居・語り・パネルシアター他

* 読み聞かせフォーラム (主催「由布市読み聞かせフォーラム実行委員会」)

時間：19年2月4日(日) 10：00～15：30

場所：健康文化センター はさま未来館・2階・大研修室

内容：子どもコーラス

学校・PTA・読書ボランティア各代表によるフォーラム

読み語り実演

児童文学作家「西本 鶏介氏」による講演会

11月のテーマ展示

あきいろ いろ
「秋色・彩」

文化の秋、読書の秋、芸術の秋、そしてお酒のおいしい秋。いろいろな秋を探してみましょ。

11月のミニ展示

「絵画小品展」

作品 岡崎 香予さん

芸術の秋にふさわしい、すてきな絵画をご堪能ください。



9日・16日は
12:00～15:00まで
パソコン室休み

11月のカレンダー

■ 3館の休館・休室日

○ 挾間・湯布院：おはなし会

△ 湯布院：パソコン休室日

由布市立(挾間)図書館からお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	10	⑪
12	13	14	⑮	16	17	18
19	20	21	22	23	⑳	25
26	27	28	29	30		

庄内図書室からお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

湯布院図書室からお知らせ

日	月	火	水	木	土	
			1	2	③	④
⑤	6	⑦	8	⑨	10	11
⑫	13	⑭	15	16	17	18
⑰	20	⑰	22	⑳	24	25
⑳	27	㉘	29	30		

由布市文化財探訪

その.10

今回は由布市挾間町の県指定有形文化財「北原石造無縫塔」と挾間町に伝わる「馬見塚氏となまず伝説」と紹介します。

国道210号を庄内から挾間に向かい、右側の挾間大橋を渡り鬼崎に入ります。そこから坂を登ると田ノ小野地区に着き、その変電所前の道路の横に、県指定有形文化財「北原石造無縫塔」があります。

この無縫塔は、卵塔ともいい、鎌倉時代に禅僧によって輸入された墓塔の一つでもあります。

無縫塔には、その造りを単制のものや複製のものがあります。単制無縫塔は、台座の上に卵形の塔身を置いたものですが、複製無縫塔は、竿、中台、請座などを備えた形式のものです。この北原石造無縫塔は、数少ない複製無縫塔の秀作です。

この無縫塔は、阿蘇一族、馬見塚氏の開祖、馬見塚左馬介正国の墓塔です。正長2(1429)年に造られ、高さは150cmあります。

請座と塔の間に書かれた説明によると、前肥後山鹿郡馬見塚の城主でしたが、わけあって田ノ小野に来てその後、僧となり「瑞椿」と名乗り、住むようになったそうです。

この無縫塔のすぐ近くの、ソテツが茂ったところが、左馬介正国が最初に造った「地福庵」跡です。

北原石造無縫塔▶



馬見塚氏となまず

馬見塚氏一族は、どんなこつがあっても、なまずを絶対にたべんそうじゃったと。

それはな、むかし、馬見塚城は平地にあって、周りを大きな堀にかこまれていたんじゃ。じゃけん、こん城を攻めるんは、とうてん難しかったそうじゃ。あるとき隣国と戦争になっち、夜中に敵の武士が堀ん土手を切っち水を流しだしたんと。堀の水はどんどん少なくなったんと。これを見ち堀に棲んじよった、なまずが「殿様大変でございます。すぐ私の背に乗って逃げてください」「何を言うか堀に囲まれたこの城がおちるわけがない」「いえ、土手は崩され水はなくなっています」「なに、それは仕方ないすぐ避難しよう」とゆうち馬見塚氏は、なまずに助けちもろうち、無事に挾間田ノ小野にやっちきたんと。

それぢ今でん、馬見塚氏は、なまずに受けた恩を忘れんじ、絶対になまずは食べんのじゃと。

嘘と思うんなら、誰でんきいちみない。人の恩を忘れんこつじゃ。これが一番大切なこつちゃ。



▲馬見塚氏は、なまずに乗ってきた
(挾間町の伝説と民話第2集「古人より」抜粋)

問い合わせ

由布市陣屋の村歴史民俗資料館

☎ 097-583-3941

由布市教育委員会 生涯学習課文化振興係

☎ 0977-84-3111 (内233)

●次回紹介は……

県指定史跡「由布院キリシタン墓群」などです。お楽しみに!

HOT LINE

みんなのひろば

由布市総合政策課
☎097-582-1111 内線222

相談

女性の問題に対する相談

■夫・パートナーからの暴力

配偶者暴力相談支援センター

☎097-544-3900

月曜日～金曜日 9:00～21:00

土日祝日 13:00～21:00

■夫・パートナーからの暴力、ストーカー等

警察安全相談：大分県警察本部広報課

☎097-534-9110(短縮ダイヤル「#9110」)

月曜日～金曜日 9:30～18:00

※最寄りの警察署総務課でも相談できます。

■職場でのセクハラや性別による差別的取り扱い

大分労働局雇用均等室

☎097-532-4025

月曜日～金曜日 8:30～17:15

■スクール・セクハラ

大分県教育庁人権・同和教育課

☎097-534-4366

月曜日～金曜日 9:00～17:00

メールによる相談 no-sekudara@oita-ed.jp

■女性の人権問題全般

女性の人権ホットライン(大分地方法務局)

☎0570-070-810

月曜日～金曜日 8:30～17:15

■女性が抱える様々な問題や悩みを解決するための適切な情報提供・助言

女性総合相談(アイネス)

☎097-534-8874

月曜日～金曜日 9:00～16:30

巡回特別労働相談

日時 11月29日(水) 午後1時30分～4時30分

場所 大分文化会館(大分市荷揚町)

内容 賃金、労災、採用、解雇、その他労働問題

対象者 中小企業等の労働者及び対象者

相談方法 来場相談及び電話相談

問い合わせ 中部中小企業労働相談所(☎097-532-3040)

くらしの安心相談員による「消費者相談」

架空請求、振り込め詐欺などの被害が多発しています。消費生活に関する苦情や困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。(相談無料)

日時 11月28日(火)午前9時～12時

場所 挾間庁舎3階応接室、庄内庁舎3階第6会議室、湯布院庁舎2階第3会議室

問い合わせ 商工観光課(☎0977-84-3111 内線512)

教室・講習会

うつ対策県民講座

自分や周りの人がうつ病にかかったときにどうしたらよいか、何ができるか考えてみませんか。

日時 12月1日(金) 午後2時～5時

場所 iichiko音の泉ホール(大分市高砂町)

内容 講演「うつ病への対応と自殺対策」、自死遺族の方のお話し

問い合わせ 県精神保健福祉センター(☎097-541-6290)

募集

秋の一日織り教室生徒募集

初めてののはた織り体験大歓迎。草木染めの糸で織る素敵な壁掛けや布をさいて糸にしたもので織るさき織りのポシェットなどを楽しく作りましょう。親子での参加もお待ちしています(織り機に足が届けば、5～6歳ぐらいから参加できます)。

日時 11月19日(日) 午前9時～午後4時で、都合の良い1～2時間(要予約)

場所 陣屋の村芸術工房(挾間町鬼瀬)

料金 1点1,000円(材料費込)

※織り教室生徒も募集中(見学可)

問い合わせ 増野(☎090-5285-4327)

お知らせ

不動産登記事務の変更について

湯布院地域の不動産登記事務については、現在大分地方務局別府出張所で取り扱っておりますが、平成19年1月9日から大分地方務局登記部門で取り扱うこととなります。なお、湯布院地域の商業・法人登記事務については、平成17年10月3日から同登記部門で取り扱っています。

問い合わせ 大分地方務局登記部門(☎097-532-3342)、大分地方務局別府出張所(☎097-7-21-2218)

加入していますか？労働保険！

仕事上の思わぬ災害や、予期しない失業の支えとなっているのが労働保険です。事業主の皆さん、労働者を一人でも雇っていただければ、労働保険に加入しなければなりません。

問い合わせ 大分労働局労働保険徴収室(☎097-536-7095)

ハローワークプラザおおいたの時間延長

サービス提供時間を延長しています。なお、平日の午後5時15分以降と土曜日は、求人情報の閲覧や職業紹介、相談に関する業務となります。

開庁時間 (平日) 午前8時30分～午後7時
(土曜) 午前10時～午後5時

問い合わせ ハローワークプラザおおいた(☎097-533-8600)、OASISひろば21地下1階

保護者向け講演会

子どもの就職について、親ができることやしてはならないこと、問題の解決方法等を保護者の皆さんとともに考えるセミナーです。

日時 11月26日(日) 午後1時30分～4時30分

場所 トキハ会館(大分市府内町)

対象者 就職や進学を控えた生徒・保護者

講師 小島貴子さん(キャリアカウンセラー)

問い合わせ ジョブカフェおおいた事業推進室(☎097-548-5771)



原子爆弾被爆者二世に対する無料健康診断

対象者 両親、またはそのどちらかが原子爆弾被爆者で、大分県内にお住まいの人

申込期限 12月15日(金)

申込・問い合わせ 別府県民保健福祉センター由布保健支所(☎097-582-0660)

知っていますか、建退共制度

この制度は、建設現場で働く人のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。退職金の試算、パンフレットの請求等はホームページをご覧ください。

加入できる事業主 建設業を営む人

対象となる労働者 建設業の現場で働く人

掛金 日額310円

問い合わせ 建退共大分支部(☎097-536-4800)

<http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



小規模企業共済制度

この制度は、個人事業主または会社等の役員の方が事業をやめたり、退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておく国がつくった共済制度です。特徴は、掛金は全額所得控除で、受け取る共済金も退職所得扱いまたは公的年金等の雑所得扱いとなります。詳しくは、商工会、金融機関の本支店の窓口でお問い合わせください。

問い合わせ 中小企業基盤整備機構共済普及課(☎03-5470-1540)

大分県「障害者週間」福祉大会

●ときめき音楽祭

日時 11月23日(祝) 午後12時30分～3時30分

場所 iichikoグランシアタ(大分市)

出演者 県内障害者団体等

●福祉大会・大分大会

日時 12月7日(休) 午前10時30分～午後2時30分

場所 大分文化会館大ホール

内容 開会行事、記念講演

問い合わせ 大分県障害者社会推進センター(☎097-533-4003)

庄内町商工会発行「お買物券」

庄内地域商工業者85店舗の加盟店でご利用でき、1セット(500円券が21枚)が、1万円で購入できるお得な商品券が発売されます。

お買物券販売所 庄内町商工会他庄内地域17箇所の加盟店

使用期間 12月1日(金)~平成19年1月31日(水)

問い合わせ 庄内町商工会(☎097-582-0094)

公益通報者保護法が施行

労働者が、事業所内部の法令違反行為等を事業者や権限を有する行政機関、その他の事業所外部に公益通報を行った場合に、事業者による解雇等の不利益な処分から労働者を保護するものです。県では、受付・相談のための総合窓口を県民生活・男女共同参画課(公益通報専用☎097-536-1807)に設置しました。

11月17日はおおいた地産地消の日

大分県では、今年から11月17日を「地産地消の日」としました。11月17日から23日の期間中、県産食材を使った料理紹介や消費者交流会など様々なイベントが催されます。家庭や学校、職場、地域などで、大分の食材を使った鍋料理や郷土料理を囲んで「食べ物」や「環境」について考えてみましょう。

問い合わせ おおいたブランド推進課(☎097-536-1111)

スポーツ

ゲートボール大会

大分県身体障害者・児“秋の交歓会”ゲートボール大会が10月15日、大洲運動公園多目的広場で開かれました。県内から37チーム、約250人が参加し、見事、挟間チームが準優勝に輝きました。



チャリティーゴルフ大会

第11回湯布院町地区対抗チャリティーゴルフ大会が10月13日、湯布高原ゴルフクラブで行われました。日ごろの腕前を發揮し、熱戦が繰り広げられました。成績は以下の通り。

団体戦 優勝 温湯、2位 川北、3位 川南

催し

定期演奏会

日時 12月2日(土) 午後5時30分開演

場所 別府大学短期大学部大分キャンパス文化ホール(大分市野田)

出演 大分大学医学部混声合唱団ユーベル・エコー、エリカフラウエンコール

入場料 無料・全席自由

問い合わせ 菊池(☎080-1734-2544)

ゆふいん
商工まつり
同時開催

ゆふいんオータムフェア

日時●11月19日(日) 午前10時~午後3時40分 場所●由布院小学校グラウンド

メインステージ・アトラクション

- ・ゆふいんベビーピック
- ・陸上自衛隊湯布院駐屯地音楽隊演奏
- ・湯平子供神楽
- ・ゆふいん源流少年隊
- ・湯布院出身バンド「プレッジ」演奏
- ・消費者還元セール、餅まき など

催し

- ・商工まつり
- ・郷土の食コーナー
- ・フリーマーケット
- ・歯科健康相談コーナー
- ・健康相談コーナー
- ・環境保全コーナー
- ・手作り石けん実演コーナー

第39回公民館まつり

期間●11月18日(土)~19日(日) 場所●湯布院公民館

内容●生涯学習活動展示、芸能の部発表会

(18日…まなびのステージ、19日…子どもたちのステージ)

【問い合わせ】 ゆふいんオータムフェア事務局(湯布院地域振興課) ☎0977-84-3111

閉会式終了後、「新鮮野菜」「緑化木」の無料配布があります。